

令和 7 年度
第1回宇治市総合計画審議会
議事要旨

宇治市

第1回宇治市総合計画審議会 議事要旨

＜開催年月日＞2025(令和7)年6月1日(土)15時45分～17時

＜開催場所＞市役所8階第会議室

＜出席者＞

・委員

真山 達志(委員長)	同志社大学政策学部 教授
奥西 隆三(副委員長)	社会福祉法人宇治市社会福祉協議会 監事
大西 辰彦	京都産業大学経済学部 教授
塚口 博司	立命館大学理工学部 名誉教授
鵜ノ口 悟	南山城地区労働者福祉協議会 事務局長
古澤 明	京都府山城広域振興局 局長
小永井 宏子	宇治市国際交流協会 副会長
松村 尚	公益社団法人宇治市観光協会 事務局長
多田 ひろみ	宇治市女性の会連絡協議会 会長
幸道 直樹	一般社団法人宇治久世医師会 副会長
佐野 恵理子	一般財団法人宇治市スポーツ協会 副会長
入江 剛	宇治市連合喜老会 副会長
吉田 利一	京都やましろ農業協同組合 副組合長理事
白崎 真司	一般社団法人宇治青年会議所 理事
菅原 祐香	市民公募委員
高原 貴久子	市民公募委員
立畑 伊織	市民公募委員
出水 あゆみ	市民公募委員
長澤 憲保	市民公募委員
星 紗矢香	市民公募委員
堀田 直子	市民公募委員

山本 隆萬
吉元 恵美子

市民公募委員
市民公募委員

計23名

・理事者

松村 淳子
川口 龍雄
貝 康規

市長
副市長
副市長

・部長等

遠坂 尚
秋元 尚
大北 浩之
荻野 浩造
前田 貴徳
雲丹亀 正記
星川 修
松原 武司
伊藤 樹
飯田 克夫
米田 晃之
倉辻 崇秀
蒲原 功
福井 康晴
木戸 英明

危機管理監
市長公室長
政策企画部長
総務・市民協働部長
人権環境部長
福祉こども部副部長
健康長寿部長
技監
理事
建設部長
都市整備部長
議会事務局長
上下水道部長
教育部長
消防長

・総合計画審議会事務局

須原 隆之
佐々木 卓也
辻 親雄

所管副部長(政策企画部副部長)
審議会事務局長(政策戦略課長)
担当者(政策戦略課)

服部 和夫

担当者(政策戦略課)

望月 聖太

担当者(政策戦略課)

計 23 名

< 審議会次第 >

1. はじめに
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶
4. 正副委員長の選出
5. 議事
 - ① 諮問
 - ② 第 6 次総合計画第 2 期中期計画の策定について
6. 閉会

＜会議内容＞

1. はじめに

【事務局】

それでは、定刻になりましたので、会議をはじめさせていただきます。

◇欠席者の説明(榊原委員、酒井委員、牧委員、長谷川委員、小林委員、前畑委員、中村委員 計7名)

2. 委嘱状交付

【事務局】

まず、はじめに、宇治市総合計画審議会第18期委員としてご就任頂きます皆様方に、委嘱状を交付させていただきます。

【松村市長】

委嘱状、宇治市総合計画審議会委員を委嘱します。令和7年6月1日宇治市長松村淳子。
どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

◇委員の方々の紹介、宇治市役所の出席者紹介

3. 市長挨拶

◇市長より開会挨拶

本日は第1回総合計画審議会を開催させていただいたところ、日曜日の夕方開催にも関わらず、多くの委員の皆様にご出席いただきありがとうございます。また、日頃より宇治市政の推進にご協力いただきありがとうございます。

この審議会は、宇治市の根幹となる総合計画をこちらから諮問し、計画に対する議論・提言いただくという重要な会議です。総合計画は、昭和47年から現在の宇治市第6次総合計画に至るまで継続して策定してきました。そして、今から4年前の令和3年度に議論いただいた宇治市第6次総合計画が4年目を迎えています。

委員の皆様は、前回から引き続き就任いただく委員と今回新たに就任いただいた委員がいます。また、今回、市民公募者を応募したところ若い方々からの応募が多かったことから、若い方々が宇治市政に興味・関心を持っていただいていると改めて感じております。

宇治市第6次総合計画は12年間の計画であり、令和4年度から令和7年度までの4年間で第1期中期計画として位置付け、重点的な施策を位置付けて取り組みを進めています。前回策定時を振り返ると新型コロナウイルス感染症が蔓延していた頃であり、計画中にコロナの対策やポストコロナを見据えた対策を入れました。また、団塊の世代がお年を召され後期高齢に入っていく2025年問題も見据えた取組も展開しています。このような中で、観光客はコロナが終わり一定程度戻りはじめています。一方で、社会情勢が不安定で物価上昇も続き、社会への不安が表面化してきています。そうした中で、今回ご議論いただく第2期中期計画は、12年間のうち2番目の中期計画であり、重点的に取り組むべき内容についてご審議をいただくことが中心になります。これまでの進捗状況を振り返りつつ、これからの4年間、何をしていくかご議論いただきたいと考えています。

去年は能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報発令など自然災害が激甚化・頻発化してきています。一方で、今年の1月2月はあまり雨が降らず、5月は朝晩が涼しい状況が続いています。また、物価高騰や社会情勢が不安定な状況下で、そうしたことを踏まえながら、宇治市として舵取りするための基本的な計画です。

大変短い時間になるかもしれませんが、専門部会でしっかりご議論をいただきたいと考えています。市民の意見を聞き、また若い方々にも意見を聞くことを重ね合わせながら、年度末に向け、第2期中期計画を策定していきたいと考えています。多岐にわたるご意見、専門的なご意見、日常的に感じていらっしゃるご意見などいただきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

4. 正副委員長の選出

【事務局】

早速ではございますが、会議次第4の正副委員長の選出に移りたいと存じます。宇治市総合計画審議会設置条例の第4条におきまして、「審議会に委員長及び副委員長をそれぞれ1人置く。」と規定があり、同条第2項において、「委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。」こととなっております。これに基づきまして、選出をお願いしたいと存じます。

恐れ入りますが、どなたかご推薦を頂けないでしょうか。

【委員】

従来から、委員長は学識経験者に、副委員長には関係団体の役職員さんにそれぞれご就任頂いております。委員長には、前回も委員長をして頂いております同志社大学教授の真山委員さんに、副委員長には、社会福祉法人宇治市社会福祉協議会監事の奥西委員に、このお二人を推薦申し上げたいと存じます。いかがでございましょうか。

【事務局】

ただいま、委員長に真山委員、副委員長に奥西委員をご推薦顶きましたが、皆様いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【事務局】

ご異議がないようですので、委員長を真山委員、副委員長を奥西委員にお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【委員長】

ただいま委員長にご推薦顶きました同志社大学教授の真山です。改めまして、どうぞよろしくお願い申し上げます。

現在の総合計画の冊子がお手元に配布されていると思います。立派で重い冊子ですが、これが本箱の肥やしにならないよう記載された戦略やビジョンが実現するよう努めていきたいです。この計画策定時から世の中も変化してきており、また、新たに考慮しなければならないこともあります。これまでの取組の成果を踏まえて、さらに進めていくという重要な計画になるため、皆様のご意見やアドバイスを受けながら中身の濃い計画にできればと考えています。円滑な審議にご協力いただければと思います。

【副委員長】

社会福祉法人宇治市社会福祉協議会監事の奥西です。不慣れな部分もあるため、皆様にご協力いただき頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

5. 議事

① 諮問

【委員長】

会議の前に連絡事項をお伝えします。本日の審議会は傍聴の申請があったため許可しています。これより、第1回総合計画審議会を開会します。会議次第5の議事①の諮問についてです。事務局より説明をお願いします。

【事務局】

それでは、松村市長から宇治市第6次総合計画第2期中期計画の策定につきまして、宇治市総合計画審議会に諮問をさせていただきます。

【松村市長】

宇治市総合計画策定審議会委員長、宇治市総合計画第2期中期計画策定について、宇治市総合計画審議会設置条例第2条の規定に基づき、下記のとおり諮問します。「宇治市総合計画第2期中期計画の策定について貴審議会の意見を問う」。どうぞよろしくお願いいたします。

② 宇治市総合計画の策定について

【委員長】

それでは、会議次第5の議事②の宇治市第6次総合計画第2期中期計画の策定について、事務局より説明をお願いします。

《 資料④宇治市第6次総合計画第2期中期計画の策定について 》

《 資料⑤宇治市第6次総合計画第2期中期計画策定のための
アンケート調査へのご協力のお願い(調査票案) 》

【委員長】

会議録を作成するため、ご発言の際は、お名前をご発言ください。また、会議録は情報公開の対象となるため、あらかじめご了承ください。

それでは、事務局の説明に対し、ご意見やご質問のある方は、挙手をお願いします。

【委員】

アンケート調査票の間 11 ですが、前回の 49 分野から 30 分野へ絞られたとのことですが、設定している項目は政策と紐づいた内容となっているのか、それとも、総合計画の中のキーワードから抽出しているのか、この後の評価の活かし方に関わってくるため確認したいです。

【事務局】

問 11 は第 1 期中期計画に記載の取組内容等から抽出した内容です。

【委員】

満足度と重要度は 3 段階での調査が一般的であり普通と回答する方が多いと思いますが、アンケートに予算をかけて実施する以上、よい成果が上がったときに何を持ってよい評価を得られたのかと判断するのか、各施策とどのようにつながっているか確認していただけるとよいと思います。

【委員】

鏡文はアンケートで配布する説明文か確認したいです。今は宇治市がどのようなになっていくか関心がありますが、子育てする前に働いていたときは時間がなく、このようなアンケートを受け取っても真剣に回答しなかったと思います。また、文字がたくさん並んでわかりにくいので、最初にページにこの結果を踏まえて市が今後のことを考えてくれることを絵やフォントを工夫し、チラシを作るようなイメージで表紙を工夫してほしいです。

【委員長】

現在の調査票案では、アンケートに回答しようという気持ちにならないかもしれないため、ご意見を踏まえて、可能な範囲で工夫を検討いただけるとよいです。

【事務局】

これまでアンケートは 2 次元コードなどでの回答ができなかったため、今回はインターネットでの回答もできるように工夫しています。また、ホームページには総合計画の詳細内容も掲載しているため、総合計画もご覧いただければと思います。

【松村市長】

アンケートに答えたいという気にさせる必要があるという意見と理解しています。総合計画を周知するためのツールのあり方とアンケートの中身を見てもよいと思えるような表紙の工夫を検討していきたいと思います。

【委員】

アンケートは興味を持ってもらい、自分の意見が反映されるかもしれない、という点は重要だと思います。また、問 15 の宇治市政の行政サービスの評価について、不満と回答した理由も確認するのがよいと思います。また、問 16 について、市民協働のまちづくりは素晴らしいと思いますが、参加されることがない理由を深堀できるとよいと思います。

【事務局】

今回、ネガティブな設問は設定しない想定としていましたが、問 16 の参加されない理由などについても全体の設問数とのバランスを踏まえて検討します。

【委員】

前回のアンケートの回答率を知りたいです。また、問 15 の不満と回答した理由が気になるため、カッコ書きで理由を書いてもらえるようにするとよいと思います。

【事務局】

前回のアンケートは 18 歳以上の 3,000 名にアンケートを実施し、回答数は 939 名であり 31% 程度の回答率でした。また、問 15 での不満と回答した理由についても回答者の負担にならない程度に工夫を検討します。

【委員】

表紙に URL 及び 2 次元コードを掲載予定とのことですが、URL 及び 2 次元コードを知っていれば 3,000 名以外でもアクセスできるか確認したいです。また、問 15 の LINE などの SNS を活用した情報発信に取り組んでいることが記載されていますが、SNS の利用状況もあわせて確認するのがよいと思います。

【事務局】

URL や2次元コードがわかれば回答は可能ですが、今後ホームページで公開を予定している審議会資料には URL や2次元コードを掲載していない資料を公開させていただき、アンケート調査の対象者となり、調査票を郵送させていただいた方のみ URL や2次元コードがわかり、アンケートに回答できるという対応をしております。問 15 の利用状況は、アンケートではまず満足度を確認したいと考えています。その後、アンケートで確認しきれなかったご意見は、市民との対話形式のワークショップなどでしっかりと丁寧に伺っていきたいと考えています。

【委員】

3,000 名に絞ることなく HP で広く意見を募ることも今後考えてもよいと考えます。また、デジタル技術を活用した市政運営について今後ワークショップなどで確認いただければよいと思います。

【委員】

アンケート調査の結果を市政だよりに掲載するなど結果の公表方法について確認したいです。真面目に回答している方に対してどのような結果になったか、自分の意見はどのように反映されたかなどの意見の活用の流れを確認したいです。

【事務局】

アンケート結果は、第 2 回総合計画審議会全体会で報告し、審議会資料としてホームページにも公表することを予定しています。また、アンケートではどのような取り組みが求められているかを把握することを目的としていますが、結果の使用用途について表紙に追記を検討します。

【委員長】

表紙のデザイン等についてもお話があったため、集計結果をご覧くださいなどのご案内がよいと思います。

【委員】

前回と今回のアンケートの設問内容はどこかどのように変わっているか確認したいです。また、対象の方に 70 歳や 80 歳もいるが、若い方であれば2次元コードやホームページでもよいですが、インターネットを使えない方への対応も必要であると考えます。

【事務局】

設問数や構成は、定点観測を実施するため、大筋は前回と同様としています。今回は、新型コロナウイルス感染症等の社会情勢を踏まえた設問を設定していたが、今回は第1期中期計画で定めた重点施策に関する設問や土台の取組等を新たに設定しています。また、70歳代や80歳代以上の方にも回答しやすい工夫として、郵送して紙でご回答いただく方式とWEBで回答いただく方式を併用しております。若い方や現役世代はWEB回答、WEBが使えない方は紙でご回答いただければと考えております。

【委員】

アンケート内容が前回から少し変更しており、何をアンケートで把握したいかを踏まえて検討したということで安心しました。

【委員】

アンケートの対象者は、市からアプローチして宇治市のファンにできる3,000名と認識しています。京都アニメーションが制作した紫式部ゆかりのまちのクリアファイルを市民講座で配布したりしているため、クリアファイルを活用してアンケート調査票を配布するなどの方法ができないか検討してほしいです。

【事務局】

紫式部ゆかりのまちのクリアファイルは、産業観光部から配布しているものであるため、在庫を確認の上、検討します。

【委員】

問15は設問の趣旨を確認したいです。具体的には、デジタル技術の活用についてか、行政サービスについての設問のかいずれを尋ねた質問か確認したいです。ここまでの説明から、行政サービスについての設問であるため、「このような取り組みを含めて行政サービス全般」とするのがわかりやすいです。

【事務局】

行政サービス全体への評価のため、ご意見を踏まえて整理します。

【委員】

問 12-14 は記入例があると自由記述欄が書きやすいと思います。

【委員長】

回答者の負担も踏まえて整理いただいていると思いますが、改善した形で工夫や検討をお願いしたいです。

6. その他

【委員長】

ありがとうございました。今回はスケジュールやアンケートについてお話がありましたが、次回以降、内容に踏み込んだ意見をいただく形になるため今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

7. 閉会

【川口副市長】

委員の皆様におかれましては、本日、お忙しい中、審議会にご出席いただき、また、活発なご議論をいただきありがとうございます。総合計画第2期中期計画の策定作業が開始します。

昨今の物価高騰や人口減少・少子高齢化の問題、激甚化・頻発化する自然災害の問題など対応すべき行政課題が山積している中で、市民生活の安全・安心を確保し、将来に渡り魅力あるまちづくりの実現に向けて、第2期中期計画は今後4年間の羅針盤となる極めて重要な計画です。専門的な見地から、あるいは、市民目線から活発な議論をいただき、策定に向けた努力を重ねてまいりたいと思います。タイトなスケジュールの中でご負担をおかけすると思いますが、引き続き、温かいご支援とご協力をたまわりますようよろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、これをもちまして、第1回の審議会を閉会とさせていただきます。

---了---